

プロジェクト概要	他の決済サービスとの基盤の共通化による利便性向上とデータ利活用推進のベースとなる利用データ取得、バリアフリー情報等の提供を目指す他のMaaSとの連携、空白解消等を目指したモビリティ(AIオンデマンド交通交通等)とのシステム連携標準化を行う。オーバーツーリズムの観点からも現金からキャッシュレスの促進により、外国人観光客の乗降時間短縮に寄与する。				
課題	- 特に乗り合いタクシー、オンデマンド交通、コミュニティバスなど交通空白・移動困難地域の解消を目指すモード等との連携が不十分 - 多様なシステム・決済基盤が乱立しており、仕様が独立し相互運用が難しい		事業エリア	九州7県(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)	
取組内容	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] - サービスPFを活用した交通空白の解消のため、地域の交通事業者と連携したMaaSプラットフォームをさらに機能拡張し、乗り合いタクシー・AIオンデマンド交通・コミュニティ交通との連携(ルート検索)を推進する。 「ANA Universal MaaS」と連携し交通弱者向けの移動情報提供サービスを実装する。 [モビリティ・データの取得と活用] 25年度に実装した「WebGIS」を用いて分析する乗車券の拡大やWebGIS機能のアップデートの検討を行う [エンドコンテンツとの連携] - 九州MaaSの観光系サービスプラットフォームであるEnjoy Kyushu における取扱商品を拡大し、観光施設・コンテンツ連携を深度化(myrouteとの連携による送客など)する - スポーツ等の集客イベントと連携したMaaSチケット造成を推進する - 多言語化チケットの推進や多言語パンフレットを造成することで、インバウンド対応策を強化する - 地域観光資源の掘り起こしによる観光コンテンツ開発等を行い観光需要の分散や観光客の移動手段を確保する [協業化・共通化・標準化] - SMCCと協働し、以下のシステム標準化を行う。①my route上で表示されたQRチケットをsteratransit端末で認証、②my routeの取り扱いチケットをクレカで購入し、購入したカードでのタッチ乗車(EMV)を実現 - QRチケット相互運用API標準仕様」に準拠した標準化QRによる共通乗車券(鉄道・バス)の造成 - AIオンデマンド交通等とMaaSサービスの連携に向けた標準仕様の検討・構築		交通事業者	九州エリア交通関係事業者	
			MaaSアプリ等	- MaaSアプリ・システム:my route - 購入・利用実績ダッシュボードシステム:WebGIS	
			データの活用等	- データの取得方法:MaaSアプリ操作ログ(GPS・属性情報) - データの活用方法:購入実績データ(位置情報)を定期的に確認できる状態に可視化・集計し、サービス検討・広告宣伝に活用	
			座組		
効果	- 交通空白解消、交通事業者のフィジカルな連携と、MaaSのデータ利活用など持続可能な交通ネットワーク構築の取り組みを幅広く水平展開 - システム標準化を行うことでサービス品質の向上を目指す		スケジュール		
			4～6月	機能改修・連携	サービス提供(新規商品造成)
			7～9月	要件定義	企画
			10月～12月	システム開発	造成
			1月～2月	実装	発売
事業の新規性	- SMCC連携を今回新規に行い、電車、バス等、異なるモードでの移動をシームレスに繋ぎ利用客の更なる利便性向上行う - マルチモーダルな経路検索・チケットティングの連携を更に推し進め、交通空白の解消を図る - 地域観光資源を活用したコンテンツの新規開発を行い、企画乗車券等の交通との更なる相互連携によって、観光客の広域周遊および分散化を推進する		効果測定		

九州MaaS協議会
(事務局:九経連・観光機構・JR九州・西鉄)

アプリ提供・機能改修
トヨタファイナンシャルサービス社

システム提供(API連携)
SMCC/QUADRAC

PF利用者かつ端末導入・保持者
(交通事業者)

4～6月

7～9月

10月～12月

1月～2月

要件定義

システム開発

実装

効果測定

企画

造成

発売

効果測定